

授業改善等に関する報告書（2025年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Learning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を探っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2025 (前期) 生活科学部合同] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活経済学 火曜配信 (日野)	高橋 桂子	<p>履修生の皆さん</p> <p>14回お疲れ様でした、歩留まり率も高く、よく頑張ってくれました。「毎週の課題が大変でしたが興味はあったので楽しかったです。」大学生は勉強が本分です。何事にも興味をもって取り組んでみてください。きっと楽しくなります！</p>
被服実習 a	磯崎 明美	<p>本授業に関する意見や今後の改善点についてお伝えいただきありがとうございます。</p> <p>課題の多さについての意見を多くいただいている。本授業では作品の他に、部分縫製として縫製技術の実物を一部でも手元に残すことを重視した課題構成をしました。さらに予習・復習の時間も加味して組み立てています。しかし課題が多い煩雑な印象を与えてしまい、さらに最後の課題については授業後の提出になったことを反省いたします。授業の課題の意図を徹底して伝えると共に履修生の習熟度や負担感を考慮しながら、よりバランスの取れた進行を目指す必要があることを実感しています。</p> <p>また、授業内容の理解不足の不満については、manabaを活用した事前の確認が生かされていなかったこと、授業内での質問が無かったことが残念です。事後学修や、説明・示範・実習の各段階の工夫、画像資料の活用などを含め具体的な改善も必要であると思われます。ノートを取る作業を負担に思われた方は、その場で理解することへの早道と思われますので、何よりも大切にして継続していただきたいと思います。</p> <p>以上の事より今後は、提出物のタイミングや授業の進行スピードを調整し、履修生が無理なく学習できて達成感のある環境づくりを進めていく改善策を考えます。</p> <p>履修者の皆様には引き続き、縫製技術や衣服の役割への思考や創造性を育み、豊かな生活を支える衣服づくりに必要な力について、探求されることを期待しております。</p>
被服実習 b	高橋 佐智子	<p>皆さん、アンケートへの回答ありがとうございました。履修者が少なかったからだと思いますが、授業の説明、自身の成長実感、授業の満足度、授業に意欲的に取り組んだかの項目などが満点ととても高い評価をいただきました。一方で予習復習時間にバラツキがあり、課題内容を工夫する必要があると思いました。総じて、皆さんの意欲的な態度と努力による結果だと思います。是非、この授業で身につけた技能と知識を今後の生活に役立ててください。</p>
家族関係学	笠原 良太	<p>回答者はおおむね関心を持ったようだが、もっと多くの学生に関心を持ってもらえるように、トピックの選択・提示方法を工夫したい。</p>
調理学及び実習	平井 智美	<p>回答いただいた方についてはおおむね授業を理解し、授業内容についてもおおむね満足度も高く評価していただいた上で安心しました。授業アンケートへの回答率が低かったことは改善が必要と感じました。manabaにて授業アンケートの告知を行い、授業内でも口頭で案内し、回答時間を設けたつもりでしたが、授業内で繰り返して回答を促すべきでした。また、授業の予習復習時間が30分未満の学生が多いことについても改善が必要と感じました。実技課題の練習と調べ学習を課題として授業に組み込んでいましたが、予習の必要性についても授業できちんと繰り返し説明をすべきでした。</p>
食物学	佐藤 幸子	<p>日常生活の様々な食に興味をもって探求していただいた内容を今後もぜひ続けていってください。自分の健康は食生活で守れることを実践していきましょう</p>
保育学	井口 真美	<p>保育者の関わり、乳児保育の実際等、できるだけ保育現場の様子をお伝えするよう心がけてきました。</p> <p>これからも子どもや保育に関心をもち、子どもと関わる機会も持ててみてください。</p>